



## 児童生徒が獲得したもの

校長 佐藤 雅彦

第46回ロンドン日本人学校文化祭は、校内発表日、保護者公開日の2日間の日程を無事終了しました。ご来賓、ご家族の皆様も数多くお越しくださる中、児童生徒の活躍や頑張る姿が見られ、大きな盛り上がりを見せた文化祭だったと感謝しています。

今年度の文化祭テーマは、「輝色満面 ～『ありがとう』が飛び交う舞台へ～」でした。四字熟語「喜色満面」の「喜」の文字を「輝」に置き換えた造語ですが、一人一人の個性を発揮しながら全員に輝いてほしいという願いが込められたテーマです。文化祭当日の児童生徒の輝く姿や、保護者の皆様、ご来賓の方々の感想等については来月号にて記したいと考えています。

さて、本校において、学校行事における様々な活動を通してどのような事を目標としているかについては、人間関係を上手く形成すること、集団に所属しているという実感や連帯を深めること、公共の精神を培い、より良い学校生活を築くことなどを挙げることができます。



学級、学年また学部においては色々な人たちが集まり、集団で何か一つのことを行おうとすることは結構大変です。何かを決めなくてはならないことも多く、意見が合わずに上手くまとまらなかったり、何も意見を出さない人がいたりという場合もあります。しかし、助け合いや協力のみならず、他との意見の相違からも様々なことが学べますし、その経験こそが人間関係形成の場なのだと考えます。

また、学年が上がるにつれて、得意分野などで同じ志をもつ仲間とも沢山出会っていきます。自分の得意なことを文化創造の中でどう生かしていくのか考えたり、周りの人たちと円滑に関わり合いながらどうやって良いものを生み出していくのか思案したりと、集団の中での自分の立ち位置や得手不得手なことを見つめ直すのも可能です。これこそが集団生活での所属感や連帯感を培う実践の場です。



最後に公共の精神についてですが、これは身の周りの様々な問題を自分自身の問題と捉え、それを解決するため積極的にいろいろと行動していくことだと言えます。つまり、何か問題があったなら、みんなで繋がりながらその策を模索していく心のあり様を、学校行事を通して実践的に学ぶのです。

さて、文化祭を裏方として支えたのが、文化祭実行委員会と小6児童から中3生徒で組織される各係の活動です。係では、司会、舞台道具、照明、掲示装飾、看板、美術室展示装飾、美化などを分担しました。決して目立つことではないけれど、裏方にはそれぞれ重要な役割があり、一つ一つが欠くことの出来ない仕事です。子供たちは文化祭の活動を通して、人の役に立つ、貢献することの大切さを知り、その仕事のやりがいや喜びを実感する良い経験をしたと感じているはずで



# 本校の英語教育

## 基礎から、正しく学ぶ

### 小学部英語教育

【週3時間、各学年習熟度別の少人数制】

ロンドンにある利点を大いに活用し、充実した英語教育をめざして、全学年が週3時間習熟度別に英語を学んでいます。各レベルにあったクラスで教員を配置し、日本の教科書を使用して学習を深めています。



## 保護者との連携・きめ細かなサポート

日本からの転入生のためのサポートクラス(中学部)や英語科授業参観、個別面談等を実施しています。

## 高いレベルに到達できる

### 中学部英語教育

【週6時間、4技能をバランスよく総合的に育成】

外国語A(通常の英語教育)を4時間、外国語B(英会話)を2時間設定し、「聞く」「読む」「話す」「書く」の4技能をバランス良く総合的に育成しています。外国語Aは上級学校へつながるハイレベルな授業を行い、外国語Bは習熟度別少人数で、実際のコミュニケーションに取り組める力を重視し、授業を展開していきます。



## 【英国理解を深める2つの柱】

### PSHE

(Personal, Social, Health and Economic education)

英国政府から義務づけられた、PSHE(個人・社会・健康教育・人間関係・性教育などを学習する科目)は、生徒が健全な大人になるために学ぶ、英国社会の仕組みや多文化理解に関する内容です。本校では道徳科を中心に様々な教科を通して学びます。それ以外の部分である宗教や英国における価値観などについては、英語科が中心となり、英語と日本語で生徒の発達段階にあわせて学習を進めます。

### 英国の社会・文化・歴史を英語で学ぶ

日本の教育課程と関連付けながら、

- ① 特別授業
- ② 現地校交流
- ③ 校外学習や遠足

を通して、また、週刊First News(生徒用新聞)から英国の社会問題や行事などについても学びます。児童生徒にとってロンドンでの生活が有意義に充実したものになり、より英国についての児童生徒の理解を深め、英国生活を楽しむことができます。

前掲は、本校の英語科を紹介するリーフレットの一部です。ロンドン日本人学校英語科では、正しく使える英語の力を定着させ、伸ばすことをめざしています。さらに、現地校交流や校外学習、特別授業などを通して、英国の社会や文化、歴史を英語で学ぶ、国際理解・現地理解教育を推進しています。

学校ブログでもご紹介しましたが、先般、英語教育の第一人者である池田 真先生(上智大学文学部英文学科教授)が来校されました。後日、池田先生から本校英語科へ送られてきたメールには、「授業観察では先生方がレベルに合わせてそれぞれの工夫で教えられており、それに応えて、子供たちが積極的かつ楽しみながら学んでいる様子が見て取れました。保護者の方々との面談では、先生方が子供たちをとてもよく見てくれることに感謝していると口々におっしゃっていたことが印象的でした。とてもよいものを見せていただきありがとうございました。」と記して下さっていました。

今後とも基礎から正しく学び、高いレベルにまで到達できる英語教育に取り組んでいきます。